



## for HONDA CBR250RR 2023~

**ノーマルフロントフォークにダンピングアジャスターを後付け!  
高性能カートリッジフォークへ CBR250RR をアップグレード!**



**TASC for HONDA CBR250RR '23- ¥145,200 (税抜 ¥132,000) TASC CBR250RR-15**

TASC は部品単品での販売はしておりません。TASC の組込みには高度な技術を要するため、弊社にて組込み作業を行います。表示価格には組込み工賃が含まれております。

**TASC 組込み時に消耗部品の交換料金 ¥7,800 (税抜上代)**

交換部品：スライドメタル、ガイドメタル、ダストシール、オイルシール (ダストシール、オイルシールは SKF)

### ノーマルフォークスペック

ダンピング  
アジャスター  
非装備

片側  
カート  
リッジ式



### TASC フォークスペック

伸側  
ダンピング  
アジャスター

圧側  
ダンピング  
アジャスター

カート  
リッジ式  
高性能  
積層シム

TASC  
スプリング  
プリロード  
アジャスター

専用  
フォーク  
スプリング

TASC 内部イメージ

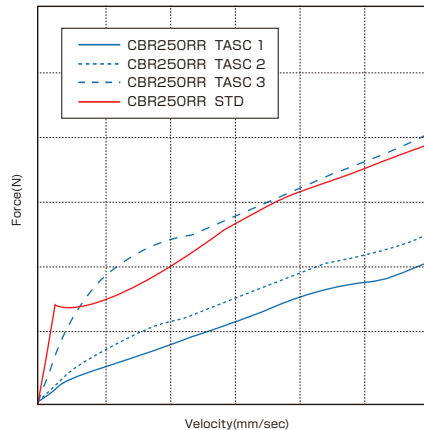
## ストリートからサーキットまで 理想的なライディングを具現化

マイナーチェンジをした CBR250RR キープコンセプトながら、細部の変更で戦闘力が上がったが、フロントフォークには調整機能が無い SFF-BP を採用する。中・低速域では路面への接地感も感じられるが、ブレーキングなどでのダンパーボリュームが乏しい為、奥まで一気にストロークしてしまい、ハンドルが切れ込んでしまう場面も。そこで Technix では CBR250RR SFF-BP 対応の TASC キット開発。積層シム型バルブシステムを用い完全カートリッジ化。片側をコンプレッションダンパー、もう片側をリバウンドダンパーの左右独立調整式システムに大きく変更。スプリングレートも見直し最適化を図り、ダンピングにワイドな調整幅を持たすことで、**ストローク全域で接地感が増し**、ストリートからスポーツ走行まで幅広いシチュエーションでワンランク上の上質な走りが可能に。

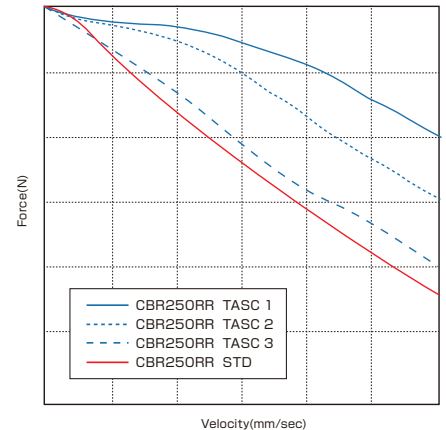


ダイノテストと実走行テストで、様々なライディングフィールドのセッティングデータをチャート化仕様を決定しています。

対純正比較ダイノグラフ コンプレッションの比較例



対純正比較ダイノグラフ リバウンドの比較例



#### STREET Set

低速、低荷重でも乗り心地を損なわず、小さなギャップ通過時の突き上げも確実に吸収しライダーへの不快感を大幅に軽減。フロントタイヤが路面に留まるよう伸び側減衰を若干効かせ気味にセット。

#### WINDING Set

積極的にバイクを旋回させるため、ブレーキを当てながらコーナーにアプローチすることを前提にコンプレッション・リバウンド共に強めにセットし、路面への接地感を上げる。ストローク中間域でも減衰をしっかり効かせ安定した車体姿勢でライディングができるようセットアップ

弊社テストでは、リアショックを「NITRON R3 シリーズ」を装着してテストしております。車体のバランスを取るために同ショック又は同等の社外品への交換を推奨致します。同ショックを装着の場合には、各ステージごとのリアショックセットアップデータの提供も可能です。



株式会社テクニクス 〒344-0122 埼玉県春日部市下柳 43-1 TEL: 048-795-4423 FAX: 048-795-4424 E-mail: shop@technix.jp URL: www.technix.jp

[ご注意]：製品の改良・相場の変動により、価格・仕様は予告無く変更される場合があります。掲載の色調は環境により実際と異なる場合があります。